

陳 情 文 書 表

<p>受 理 番 号 ・ 受 理 年 月 日 及 び 件 名</p>	<p>陳情第152号（4. 6. 13） 神戸市の責任で済生会兵庫県病院と三田市民病院の統合について説明 することを求める陳情</p>
<p>陳 情 の 要 旨</p>	<p>1. 済生会兵庫県病院と三田市民病院の統合について説明会を行うなど、神戸市の責任で市民に説明をすること。 2. 市民の反対の声が大きい場合は、統合計画を見直すよう働きかけること。</p>
<p>陳 情 者 の 住 所 及 び 氏 名</p>	<p>神戸市北区 前 山 美由紀</p>
<p>送 付 委 員 会</p>	<p>福祉環境委員会</p>

2022年6月



神戸市会議長
様

神戸市北区

前山 美由紀

電話



神戸市の責任で済生会兵庫県病院と三田市民病院の統合について説明することを求める陳情
陳情趣旨

6月2日、神戸市・三田市・済生会兵庫県病院の三者が、突然記者会見を行い、両病院の再編統合を発表しました。多くの市民が今の場所で今のままの診療を続けてほしいと望んでいるにもかかわらず、そのことに背を向けたまま市民に何の説明もなくいきなり記者会見という形で市長が会見に臨むという市民無視の姿勢に、心から憤りを感じます。

昨年度、検討委員会が行われてきましたが、その後神戸市として済生会兵庫県病院が今の立地場所で果たしている役割や周辺の医療機関との役割分担なども神戸市が検証することなく今回、記者会見が行われました。

これには市民のみならず周辺の医療機関や薬局からも「全く何も知らされていない」「寝耳に水だ」という声が上がっています。

また、統合する病院は神戸市民、特に北神地域の住民にとってどのような環境や機能が求められるのかなども全く検討されていません。

市民病院がない北区で、北神地域の中心部にあり地域と密着して急性期医療などを担ってきた済生会兵庫県病院が、統合移転してたとえ神戸市に建設されたとしても、市民から遠くなり市民が通えなくなります。またこれまでのように気軽に診療してもらえない病院に変わってしまいます。

救急医療もこれまで通り行うにしても、市民から遠いところに統合病院を作る計画は、一秒を争う救急において市民の命にかかわってきます。

これらの市民の不安にこたえるためにも、神戸市として責任をもって両病院の統合について説明し、反対の声が大きい場合は計画を見直すことを求めます。

陳情項目

- 1、神戸市の責任で市民に済生会兵庫県病院と三田市民病院の統合について説明会を行うなど説明すること
- 2、市民の反対の声が大きい場合は、統合計画を見直すことよう働きかけること。